



中村俊定文庫  
文庫 18  
42  
2





毛吹草卷才二辨符

正月



朝賀 元日 二つとふ日 小朝拜 院御礼 日 びとんぶと日 昆心切通

三抽連秋 裏白連寺 七日終 三日 終 あつち 寅二天三葉

葉摘川 七日 七日 ひららち十日 寺 えひと糸 日

初寅糸 細引 少ウ 踏 踏 十四日 踏 十

方長 十日 平思 十日 郷 十日 田島 十日 松乃内

厄祓 十日 清忌 十日 日園子 具呂餅

佐水 十日 木曾 十日 湯 十日 右高月

寺遊 十日 寺方 十日 水 十日 け 十日 文

習 十日 寺 十日 寺 十日 寺 十日 寺





喜紅 呂の洞 多此樂 宮の苗

彼磨弓 胡巷板 羽子居 毬打玉

年玉 年産 名方 多えひき

良男 書物 強初 松もり

う始 手そ始 産用 門神棚

鏡梅 新黄 大少 町まら

敷子 伊勢忍 祝掛鯛 かわり漬付

かろり くら梨 串柿 代袖柿

梅子橋のミ 聖老いふ 芋吹いふ ひきまら

ふとら かりまら ちぶ ゆつるた

こい 山椒の皮 白梅 菱梅 鏡梅

新幸梅 好文来 福喜まの丸目まら 根白草

水菓 莖立ち 野天根 茨花のて

おごりのり ひどま 金衣の 梅まのり

白負 貝ごう 干鱈 梅まのり

二月 二月 萩の餅 吉野此餅のから

初午 水着も初午詣 和服のまに 着物も茶

送るの程 ちるよりなること ねんざん像 石信

義経のまら けつなすのの所話 一音合致



さうろく あそび 八幡軍 元暦二年二月十八日

櫻梅 中梅 彼岩梅 うん梅

住持 あけ 小松 あけ

米柳 こぶ柳 松葉 うや

防風 たんぽ 蕨 あざみ

聖老 せいろう 川首 くわび 山葵 わさび

蕨 あざみ 菜大根 なだいこん 蓬松 ぼしょう 海苔 のり

鹿角落 ろくかくらく 猫肉毒 ねこにくどく 名丹 なだん 茶羽 ちあひ

蛇 へび 蛇の巢 へびのう 地出出 ぢでで 蝨 かみむし くるみ

初射 はつしや しろこ しろこ 雛 ひな

飯蛸 いひたこ まぐろ まぐろ 平居虫 へいぎむし 田水 たみづ

三月

曲水 まがみづ 桃乃酒 もものみ 蓬餅 ぼしょう

鷄合 けいごう 任吉塩干 にきちしお 赤花 あかばな 石山 いしやま

西条 さいじょう 一茶 いちぢや 水糸 みづいと 水糸 みづいと

吉野 よしの 天谷 あまや 山王 さんおう 比良 ひら

主 ぬし 念仏 ねんぶつ 念仏 ねんぶつ 念仏 ねんぶつ

花 はな 淡 あはれ 淡 あはれ 淡 あはれ

権 けん 仁 に 智 ち 女 め 宿 しゆく 水 みづ 今 いま 入 いれ

新 あらた 大 おほ 弘 ひろ 佐 さ 久 ひさ 年 とし 辛 から 夷 ひら 暖 ぬる 氣 き 海 うみ 棠 どう 辛 から 夷 ひら 花 はな 蛇 へび



木蓮花 くまんげ 赤南花 あかなんげ 沉丁花 ちんぢんげ 蘇枋花 すぼうげ

小米花 こまいな 小梅花 こめいげ 小てまり こてまり すずめ花 すずめな

三瓣花 さんぺんげ 丸り花 まるりな 白けり花 しろけりな 赤きり花 あかきりな

けり花 けりな 吾子花 わこな 見ん花 みんな 實の花 みのな

栲楊梅 かやうばい いせさき いせさき ひさく ひさく まり まり

花軍 はなぐん 花の帽子 はなのぼうし 花の舞 はなのまい 花の杖 はなのづえ 花の籠 はなのかご 花の籠 はなのかご

うし うし 新茶 あらたな 古茶 ふるいな 古茶 ふるいな 古茶 ふるいな

まき まき 金風花 きんぷうな けり けり 丁子 ていし

仙臺 せんたい 眉作 まゆさく 七重花 しちじゆうな 九輪花 くわんげ

金環花 きんわんげ 鶏ひき けいひき 茅花 かやな 菊 きく

いご いご 三葉 さんえつ 芥 かい まり まり 行 ゆき 三月 さんがつ 大根 だいこん

だん だん まい まい 蕨 わづ 干 か 餅 もち こ こ 梅 うめ 子 こ

雀子 すずこ 鶯 うら の 巢 のう 麦 むぎ 鷲 じゆ

ひ ひ の の ふ ふ 梅 うめ 鯛 うなぎ 鰯 いわし

四月 しがつ

裕 あゆ 一日 いちにち ち ち 風 かぜ 炮 ぱう の の 茶 ちや 茶 ちや と と 浩 こう 魂 たま 麻 あし 祭 まつり

水 みづ 盆 ぼん 籠 かご ひ ひ の の 以 い 山 やま 崎 さき 祭 まつり

八日 やっぴつ 天 てん 王 おう 祭 まつり 戒 かい 壇 だん 堂 どう 用 よう 帳 ちやう 八 はち 日 にち

山 やま 科 か 祭 まつり 八 はち 潮 しう 辰 てん 多 た 多 た 上 かみ 巳 み

大 おほ 津 つ 祭 まつり 菘 すう 文 ぶん 八 はち 幡 ばん 中 ちゆう 外 がい

千 ち 圓 げん 子 し 葵 あひ 祭 まつり 圓 げん 白 はく 祭 まつり 山 やま 王 おう 中 ちゆう 申 しん

地 ち 王 おう 祭 まつり 向 むか 明 めい 祭 まつり 高 たか 麻 あし 祭 まつり 去 こ 塔 たつ 王 おう

九 く 日 にち 中 ちゆう 展 てん 十 じゅう 日 にち 天 てん 王 おう 寺 てら



十七日

日光 花供 大所の五家と五替 煮酒

松のぼけ 百日の松 敷松の初 高嶺の松

文治五年 桐の花 山笠の花 厚朴の花

きこぬ花 くのたの花 くらり汁 敷桂

てまり 棋盤のむ 音のむ まるむ

梅の美 牡丹 芍薬 薔薇

ちまき 志やぐ 一八 智ちやく

風づま 鴨旦 小麥 けし花

たぬの 志やぐ 踊花 石斛の花

這魂の心 葉の葉 すれ子 竹の子

落 薔薇 青麦 岩梨

蓮の心 志やぐ 廉代衣角 蚊食の

かこころの せんも 藤取雀 ぎやうじ

射躰 志やぐ 敷躰 梅振虫

競馬 旦掛 松の葉 百子摘

菜目 葛蒲刀 日甲ののり 葛蒲酒

葛蒲酢 月湯 粽 塔寺此祝

菰森祭 光明神 宇治 今交

室の神 赤松系 住吉田 山田扇

おぐら 杉の宮治合我 月輪と討

若我兄才 杉河 虎泊の面

徹 宵月 梅檀の花 さくら

柳の花 びん花 喜山椒 山椒の夜



栗の実 あんず 小梅の実 やまめ 杏子 あんず 楊梅 やまめ

枇杷 ひた 下婢のむ あまの花 天南星 あんせう 石菖 いんぎやう 萱草 あまのね 金銀花 きんぎん

お菊 ひばり 鬼百合 おにひやく 車ゆり くるまゆり 朝露 あさつゆ 芝蔴 あまのふ お彩の花 あざな

お汁 あじ 無獲子 むくわくし 夫菘 あまのふ 赤のぬぎ あかぬぎ の花 あまのふ 蚊帳 あまのふ

栗 あまのふ 栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

栗得 あまのふ 柵胡麻 あまのふ 救 あまのふ 子松茸 あまのふ 麦秋 あまのふ 麦飯 あまのふ 切麦 あまのふ

六月

鶉の巢 うず 忌鴨の子 いんぎ 鴨牛 あまのふ 蚰蜒 あまのふ

蛇 あまのふ 蛭 あまのふ 極糸魚 あまのふ 小鱗 あまのふ

水餅 あまのふ 祇軍舎 あまのふ 津沼 あまのふ 祭田 あまのふ

赤祥食 あまのふ 伊勢茶 あまのふ 竹生時 あまのふ 江戸山王 あまのふ

富士沼 あまのふ 座以原 あまのふ 鞠子行切 あまのふ 志波寺茶 あまのふ

天由天祚 あまのふ 後 あまのふ 安後水 あまのふ 月 あまのふ 徒吉沼 あまのふ

出羽干 あまのふ 干飯 あまのふ 三つ あまのふ 物生酒 あまのふ

耳酒 あまのふ 醬油 あまのふ 麴 あまのふ 物生酒 あまのふ

耳酒 あまのふ 醬油 あまのふ 麴 あまのふ 物生酒 あまのふ

耳酒 あまのふ 醬油 あまのふ 麴 あまのふ 物生酒 あまのふ

耳酒 あまのふ 醬油 あまのふ 麴 あまのふ 物生酒 あまのふ



夏切茶 霍乱 夏少 川粉水み合

汗拭 白袋衣 團扇うちわ扇車あふま

栲子干 日漬日黄 子桃 寸也すゝ

林檎 金柑花 百日紅 鉄線てせん

眼皮 凌宵花 ぎざりし ぎざりし

虎尾のむ けりけりうら 睡蓮子 川糸せん栲子

夏栲子 もらざり 刺干 紫草

赤糸子 白茅花 浮写 汀骨

菱の花 夏ハ秋 蒲の穂 蘭らん列り

かじり 日刺ひさまへ 香茅かや列

麻あ列りハ秋 藍列 二番藍にばんらん花はなハ秋

はな蘇 香薷 干乾かんむ 蒜にんにくの根

昼食ひるめし かしら 去葉瓜 胡瓜 非瓜

蕺荷 ゆふふ 芥子かす花 小角豆

砂すなひひら 虫 蠅 毛虫

虫掃 海月うみづき 鮫さめ約 鱧うなぎ約

揚約 揚燈籠 小燈籠ことうろう水みづ

七月しちがつ 七魁しちけい栲 岑入 本山ほんざんハ七月

文珠ぶんじゆ舎しゃ 法ほふ寺じ千日せんじつ あんあんでで以も 十の八幅じゅうのやちひろ

法ほふ寺じ千日せんじつ 三井さんせいもも女によ乃の清せい 十の 手て紫むら盒こ

内裏うち燈籠とうろう 十の 方かた乃の 手て紫むら盒こ

送りおくり 花火 踊おど 小町こまちおどりあ



血の比と入 十の月粉別山田三三三、極よまき

保元乱 上旬 承久乱 日 平家乱 七月廿日

草の敵 焼米 冷麦 あけ麦

桃のミ 本乱のミ 櫻乃花 本櫛

蜀山花 仙花 亭平花 前尾子

業作子 切きまき、のむき、るま 親善子

箱菓子 美八白し花、 桔梗 きまき 光吉子

益母草 めいも、きき 養花子の花 白花候

白蘭 らんと汁も まきおひえの草

茶の花 きき、らうて 小車花 こぐるま

白草 まき、らうて 蓮の花 あしな

わい草 わい、草 蓮の花 あしな

蜘蛛 くまじ 田中

蜻蛉 せいてい 指輪 さしわ 鯉 こい

八月

たのむ たのむ 水村糸 水村糸 塙天祥糸

らる らる 白紙用帳 白紙用帳 敷物糸

志候八幡 志候八幡 宇佐文 宇佐文 箱袴 箱袴

仲 仲 羊名月 羊名月 御美奈 御美奈

老 老 杉 杉 本屋 本屋

や や 向の 向の 黄 黄 蒲萄 蒲萄

花壇 花壇 野菊 野菊 鳳仙花 鳳仙花 鶏 鶏

存 存 存 存 緋 緋 こ こ

金剛 金剛 た た 通 通

二八



ひそせむ 極菓 苦参 引 号や川

車あまの 苜蓿 かしん 冬瓜

新築の 牛房 引 苜蓿

山の七 葛根 日園子 苜蓿

苜蓿 子綿糸 日園子 苜蓿

鬼灯 菜大根 日園子 苜蓿

田の換 田乃 苜蓿

あまの 白唐 苜蓿

鴨子 田鴨 川 苜蓿

ひえき 川 苜蓿

山雀 日園子 苜蓿

川 苜蓿

虫合 金虫 玉虫 蓑虫

蛇穴 江鮭 鮭 日梁 鮭梁

鱈 小鱈 引 こと漬

九月

舍利 舍 苜蓿

靴 苜蓿

四位 苜蓿

思 山口 苜蓿

中 苜蓿

天 苜蓿

本 苜蓿

木 苜蓿



津村たつら 為成陣なりなり 元曆もとらき

今年ことし 采酒さいしゅ 古酒ふるしゅ ぬき酒ぬきしゅ

豆名月まめなつき 本練ほんれん 糞くそ 糞くそ 糞くそ 糞くそ

密林みつりん 金梅きんばい 冬年ふゆとし 母はは 果はたけ 松まつ 松まつ

海苔のり 柶しやく 胡桃くるみ 栗くり

ありあり 栗くり 栗くり 栗くり 栗くり

櫟れき 榲しよ 榲しよ 榲しよ 榲しよ

枳し 穀こく 榲しよ 榲しよ 榲しよ 榲しよ

百菊ひゃくきく 金目きんめ 大白だいはく 狸ねこ 狸ねこ

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

りり 年とし 年とし 年とし 年とし

十月

神送かみゆき 神かみ 神かみ 神かみ 神かみ

茶口切ちやくぎ 茶ち 茶ち 茶ち 茶ち

金かね 金かね 金かね 金かね 金かね

大社おほやしろ 大おほ 大おほ 大おほ 大おほ

神かみ 神かみ 神かみ 神かみ 神かみ

神かみ 神かみ 神かみ 神かみ 神かみ

神かみ 神かみ 神かみ 神かみ 神かみ







室宿部 時の新和 如布新神子 時子手 世刻

五八元日 但非が 祓之儀 時子の事 年終

平治乱 女七の事 此の理 此の理

八目種 越後国法川 官羊 竹上尺三寸と刻 立直して毎通深遠に

官省 棧 官省 其の 官内 此の 此の

夢つふ きさじ 名也の酒 鏡解つ

倭毛 水もち 名季子 天使宿 舟とあね

白本費 星仙 やく拂 年々

終 ひき 終 ひき 此の 此の 年々

輝輝 歳末 歳書記 才月

好季詞

去生焉 やまの 生牛房 暮暮生 いけ 梨

梅干 煮梅 梅を干し梅を煮たり 梅 梅

芋か 干蕨 干蕨 干瓢 干瓢 干穴根

干菜 干菜 干菓 干菓 干梅檀

尻菓子 尻菓子 名物 但干丸 味噌菽 味噌菽

赤豆粥 虫食菜 餅 餅 煮 煮

きび胡麻 けし 蕎麦 蕎麦 桂 桂 極

葉榎 葉榎 油 苺 苺 苺 苺

柳栲 栲 栲 白 白 枝 枝 栲 栲 の の 泪

赤皮 扇網 経紡 馬 馬 山 山 花

雲雀 雲雀 毛 毛 鹿 鹿 毛 毛 干魚 干魚



塩辛しほ 花魁はなけい 蛸たこ 蛸たこ 蛸たこ  
 鴈かり 鶴つる 梅根うめね 矢や 蓮れん 蓮れん 蓮れん  
 深ふか 花はな 梅うめ 梅うめ 梅うめ 梅うめ 梅うめ  
 目め 目め 目め 目め 目め 目め 目め  
 小梅こうめ 小梅こうめ 小梅こうめ 小梅こうめ 小梅こうめ 小梅こうめ 小梅こうめ

連歌四季之詞

初春

初年はつね 去い 去い 去い 去い 去い 去い  
 三乃初さん乃初 心こころ 星ほし 唱うた 冰こおり 様さま  
 屠蘇とそ 菜さい 子こ 若わか 乃の 乃の 乃の  
 等ら 試し 門かど 松まつ 齒は 固かた 初はつ 友とも  
 初はつ 多おほ 鶯うぐいす 腋わき 赤あか 贊さん 曆れき 開ひら  
 國くに 插さ 笛ふエ 霞かすみ 子こ 日ひ 小こ 松まつ 引ひ  
 多おほ 菜さい 摘と 菜さい 摘と 芥かひ 小こ 松まつ 引ひ  
 初はつ 多おほ 鶯うぐいす 腋わき 赤あか 贊さん 曆れき 開ひら  
 佛ぶつ 石いし 白しろ 馬うま 卯う 枝えだ 初はつ 郊けう  
 賭か 子こ 梅うめ 枝えだ 梅うめ 枝えだ 梅うめ 枝えだ 梅うめ 枝えだ



柳風草 柳川柳 松の花初緑 雲間初

氷乃深 水ぬる温

長岡く 東風さ 海姥

子月衣梅花衣 朧月ひつ

中春

初年上申 春日上卯 大石上卯 仙別

二月去一佛 霞の洞 春ま 朧月朧

下と 角と 若草

草の 草乃 草乃 草乃

多さ 燒焼 畑畑

田田 苗代水口 種種

麻麻 荻荻 木木

接接 花花 初初 糸糸

紅紅 八八 糸糸 中中

帷帷 蛭蛭 白白 雲雲

燕燕 雛雛 雛雛

少少 雛雛 雛雛

朝朝 雛雛 雛雛

末春

次上巳 巳巳 南中辰 鎮鎮

杯三白 小小 桃桃 三三

公公 庭庭 正正 梅梅

揚揚 人人 揚揚 心心 海海



花の初 花魁 花皿 花魁 利事花 花魁 比し

歎冬 花魁 妻 花魁 母子 花魁 藤 花魁

後 花魁 妻 花魁 踏 花魁 糸 花魁 彩葉摘

幸子 花魁 揚貝 花魁 小靴 花魁 小靴 花魁

上菓 花魁 甘菓 花魁 多級 花魁 呼子 花魁

雲 花魁 文 花魁 雲 花魁 雲 花魁 雲 花魁

花衣 花魁 歎冬衣 花魁 妻 花魁 妻 花魁 妻 花魁

夏 花魁 永日 花魁 永生 花魁 花月 花魁

初夏

更衣 花魁 妻 花魁 扇 花魁 袷 花魁

大袷 花魁 上袷 花魁 襦袢 花魁 袴 花魁

平袷 花魁 梅 花魁 廣 花魁 袴 花魁

日吉 花魁 袷 花魁 日吉 花魁 吉田 花魁

柳取 花魁 灌佛 花魁 袴 花魁 袴 花魁

牡 花魁 袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁

卵花 花魁 若槻 花魁 袴 花魁 袴 花魁

袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁

袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁

袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁

袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁

袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁

中夏

袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁

袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁

袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁 袴 花魁







庭の玄琴 律の調 玉糸 相撲すまひ

尺三山奈たぢり 植を地 露はの露 穿むし

芳色まきの色 身入 ひやうか

摘毒 草花 女郎花 新うら

七世たせ 荻あし 早田 蛸ひがし

蛸ひがし 芳あし 杜津羽 林はやし

松まつ すす虫 蒼あお ころもり

ふりま虫 いがぢり 藻も 恒虫の言こと

鶺鴒あひぢ 初はつ 初はつ

鷹山別 文月

中秋

小野糸おの 生教なま 八幡糸やわた 司つかさど

駒こま 駒こま 駒こま 駒こま

中治花園 花野 刈かり 萱うなぎ 花はな

毛花 志し 蘭らん 月草つきくさ

萩はぎ 萩はぎ 萩はぎ 萩はぎ

水みづ 田た 摘と 摘と

紫山子むらさき 引ひ 板いた かるこ

月つき 月つき 月つき 星ほし

藤ふじ 藤ふじ 藤ふじ 藤ふじ

鶺鴒あひぢ 鶺鴒あひぢ 鶺鴒あひぢ 鶺鴒あひぢ

鷹たか 鷹たか 鷹たか 鷹たか

秋あき 秋あき 秋あき 秋あき

秋あき 秋あき 秋あき 秋あき



野鴨の字入てハ 鴨鴨 鴨鴨 鴨鴨

中藥中藥 崩藥崩藥 藥藥 藥藥

廉廉 暮風のまき 暮月暮月

暮秋

沸爐沸爐 燒酒燒酒 酒酒 任者任者 北風北風

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊

菊菊 菊菊 菊菊 菊菊







節抄

時の天子の御成りておたてまつり  
きまのの候御成り候し

曆乃末

右曆 末よりつ

早梅

雛名

晦日也思やうひなやらおきまつり  
桃のり若の若く御思を討まつり

妻と約

まよひ 妻と約 年波

卯年

卯年の終り 卯年の内乃高き

三冬

三冬 卯年

池沼意之詞

夫婦 二老の契ひら此中 連理の申

情老同穴 寝初経 何やく 小舟ま

見ぬ言面 情あり 小舟ま 舟とこ

胸をく 志なき 小舟ま 舟とこ

小舟の切 小舟ま 舟とこ 舟とこ

思きれぬ 志なき 舟とこ 舟とこ

縁を結ぶ 志なき 舟とこ 舟とこ

舟入 舟とこ 舟とこ 舟とこ

十の福 舟とこ 舟とこ 舟とこ

舟と福 舟とこ 舟とこ 舟とこ

柳腰 舟とこ 舟とこ 舟とこ



白乃玉 伊いのそく たははる 意風  
意やせ 意やそ まんが 袖引  
口ぬき 過ぎ目ませ あひは  
やくそ 肌骨 舌根 肌さ  
長袴 肌帯 女此 志  
はらや 月つきの 子この 子この  
おまが 老女房 多女たに 若女わに  
燕つばきの切 汁じゆの心 了りやうの中 申まをこ  
少すくの心 二言にげんの 多たやち 志し屋や荷  
折お文ぶんの 心こころは 二言にげんの 心こころは  
作しやう手て物ぶつ 意い念ねん 心こころは 志し屋や荷  
心こころの 思しの 心こころは 志し屋や荷

かこうけ 心こころは 女にまの 心こころは  
あまの 心こころは 心こころは 心こころは  
けさの 心こころは 心こころは 心こころは  
丸まるの 心こころは 心こころは 心こころは  
めさの 心こころは 心こころは 心こころは  
女にまの 心こころは 心こころは 心こころは  
目めの 心こころは 心こころは 心こころは  
心こころの 心こころは 心こころは 心こころは  
心こころの 心こころは 心こころは 心こころは  
心こころの 心こころは 心こころは 心こころは  
心こころの 心こころは 心こころは 心こころは  
心こころの 心こころは 心こころは 心こころは  
心こころの 心こころは 心こころは 心こころは  
心こころの 心こころは 心こころは 心こころは







忠孝 人壽 中五 好は使  
佳れ凡と高申すは 高は  
世の志は 方と智 河川 海の周  
滝は泪 思の淵 心川 思の心  
思ひつゝ 芳はけ 流つゝ 心と思  
うたふ心 物と心 心と心 心と心  
まはひお ささり いと心 心と心  
知りし 心と心 心と心 心と心  
人の実 心と心 心と心 心と心  
いも勢 心と心 心と心 心と心  
心と心 心と心 心と心 心と心  
曉の別 君 心と心 心と心

わく向 情 文好 寸さ  
心と心 心と心 心と心 心と心  
下級 心と心 心と心 心と心  
恨 形心 心と心 心と心  
かゝ 心と心 心と心 心と心  
名は心 物乃心 心と心 心と心  
初は心 心と心 心と心 心と心  
心と心 心と心 心と心 心と心  
心と心 心と心 心と心 心と心  
心と心 心と心 心と心 心と心  
心と心 心と心 心と心 心と心  
心と心 心と心 心と心 心と心



道場ミチノの 道ミチがら 志シがき うウが  
 二道ニミチ 白シラの道ミチ 下シタの道ミチ あアの道ミチ  
 ひヒの道ミチ 白シラの道ミチ 妙ミョウの道ミチ 子コの道ミチ  
 魚イサの道ミチ 魚イサの道ミチ 余ヨの道ミチ 妙ミョウの道ミチ  
 腹ハラの道ミチ 腹ハラの道ミチ 妙ミョウの道ミチ 子コの道ミチ  
 そソの道ミチ 妙ミョウの道ミチ 妙ミョウの道ミチ 妙ミョウの道ミチ  
 あアの道ミチ 妙ミョウの道ミチ 妙ミョウの道ミチ 妙ミョウの道ミチ  
 あアの道ミチ 妙ミョウの道ミチ 妙ミョウの道ミチ 妙ミョウの道ミチ

佛語廿五卷

佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ  
 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ  
 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ  
 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ  
 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ  
 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ  
 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ  
 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ  
 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ  
 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ 佛ブツの道ミチ















Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise. The text is written in a cursive style and includes several lines of prose. A prominent word, possibly "الله" (Allah), is written in a larger, bolder script at the beginning of a line. The text is arranged in approximately 12 lines across the page.

Handwritten text in Arabic script, continuing the text from the previous page. The text is written in a cursive style and includes several lines of prose. A prominent word, possibly "الله" (Allah), is written in a larger, bolder script at the beginning of a line. The text is arranged in approximately 12 lines across the page.







Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of the previous page. The text is written in a fluid, connected style with some variations in line thickness. It appears to be a single paragraph or a series of related phrases.

Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of the previous page. The text is written in a fluid, connected style with some variations in line thickness. It appears to be a single paragraph or a series of related phrases.



















第百一十卷

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一







Handwritten text in Arabic script on the right page, consisting of approximately 12 lines of cursive script.

Handwritten text in Arabic script on the left page, consisting of approximately 12 lines of cursive script.







おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます

おはようございます



Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive script.



一 花の香  
あはれいふ花の香  
あはれいふ花の香

あはれいふ花の香  
あはれいふ花の香

あはれいふ花の香  
あはれいふ花の香

あはれいふ花の香  
あはれいふ花の香

あはれいふ花の香  
あはれいふ花の香

あはれいふ花の香  
あはれいふ花の香

あはれいふ花の香  
あはれいふ花の香

あはれいふ花の香  
あはれいふ花の香

あはれいふ花の香  
あはれいふ花の香

あはれいふ花の香  
あはれいふ花の香

あはれいふ花の香  
あはれいふ花の香











花狼藉

むんそし枝とたさる

らじちろとさる

むもりしやうらな

おほむらりちりちり

しきりし

ちりちりし

ちりちりし

はちりし

ちりちりし

ちりちりし

ちりちりし

ちりちりし

ちりちりし

ちりちりし

登りし

登りし

登りし

君も

いかに

けいまいし

たのび

ちりちりし

ちりちりし

おあ

すきりし

知庫の

一樹の

し

神の







きりぎりすの  
しららららららららら

包極の巻

まろき何もの親もかきつら  
らりあてらあしハあつて  
おてら子よあつて

人き人こそ

雲乃ともくハ温熱

川がらハ川よてらあ

いつの日には花

あまきりりりりりり

あまきりりりりりり

まろき何もの

きんあまきりりりり

まろき何もの

一人の好きより二人の悪者

膝とささげん

あまきりりりりりり

命とまろきあまきりりりり

くきりりりりりり

まてはあんの目あわり

小利大換

大判のまろきあまきりり

角とまろきあまきりりり

あまきりりりりりり

ひりりりりりりりり

鹿もあまきりりりりりり

目くららりりりりりり

歯なりりりりりりりり

法師の徳りりりりりり











あんとくわん  
わんごう  
とてりか  
あ

二  
四  
八

文  
杏  
園

珍  
藏



